

明高だより

明石市荷山町 1744
TEL(078)911-4376

オンライン交流

一・二年の希望者七名が中国広東省にある佛山市第二中学とオンラインを通して英語による国際交流を行いました。

最初は両校生ともに緊張していましたが、次第に打ち解けた雰囲気になって英会話が弾んでいきました。中国の生徒の方が日本のアニメについて熟知していることにとっても驚かされました。また中国の女子高生は日本の着物や制服に大変興味津々であることがよくわかりました。「イケメン」などの中国語を学んだ一方で、恵方巻について説明し食べるジュエスチャーをして笑わせるなど、交流は非常に深まりました。次回は三月に行く予定です。



小論文指導講話

二月十日(水)、出版社から外部講師を招いて、一年生を対象とした小論文指導講話を実施しました。

事前に提示された幾つかのテーマの中から将来の進路希望や興味関心等に応じて一題を選択し、文章を書き上げて添削指導を受けていました。その上で、小論文を書き上げる上で大切なことや注意すべきこと、具体的には論の展開方法や主張の提示の仕方、例示の仕方、原稿用紙の使い方等、配布資料を用いて分かりやすく丁寧に説明していただきました。今後、生徒達は講話での指導助言を踏まえてリポート添削を受けることになっていきます。



課題研究発表会

本校は今年度より「ひょうごスーパードイツスクール」の研究指定を受け、理数探究類型では大学や企業等と連携して五分野(生物・化学・物理・数学・情報)の課題研究に取り組んできました。この集大成として、課題研究発表会を開催し、十一班に分かれてプレゼンテーションを行いました。

同発表会では、大阪大学全学教育推進機構の山口和也教授にオンラインで視聴していただき評価と講評をお願いしました。その中で、課題研究は「知識の活用」「新たな知識の習得」「学びの深化」という三つの大きな意義を内包し、これらは大学等での研究や、社会人として従事する仕事などにおいて求められる重要な姿勢であるという助言をいただきました。課題研究を通して得たことを今後の研究活動に活かしたいと思います。



国際問題を考える日

県教育委員会、大阪大学、W H O 神戸センターが主催する第八回高校生「国際問題を考える日」に理数探究類型の一・二年生十名が参加しました。

このプログラムは高校生がグローバルな視点に立って様々な課題を発見し、その解決に向けて調査や研究に取り組んだ成果を発表することにより、相互の交流と研鑽を図ることを目的として開催しています。今回は新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言発出の影響を受けてオンラインでの開催となりましたが、高校生によるライブ発表や対談等もあり、普段の学校生活では耳にすることがない国際的な問題に驚きとともに多くの刺激を受けることができました。本校は、理数探究類型の二年生が行った課題研究の発表を動画投稿する形で参加しました。



卒業証書授与式

三月一日(月)、感染症防止対策を講じたうえで、多数の保護者のご臨席のもと、第七十三回卒業証書授与式を挙行了しました。在校生代表の送辞に続いて、卒業生代表が答辞を述べると、明高で仲間とともに過ごした時間を思い起こして涙する卒業生ハンカチで目頭を押さえる保護者や教職員の姿が多数見受けられました。コロナ禍に見舞われた一年でしたが、授業時間の確保のため、夏休みの短縮や学校行事の見直し等を行い、無事卒業の日を迎えることができました。

前日には、昨年度より新設された明高賞・皆勤賞の表彰と記念品贈呈式・同窓会入会式等を行いました。



明石高校ホームページ



[明石高校] で検索

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~akashi-hs/>
活動の内容は兵庫県立明石高等学校ホームページでご覧いただけます